

けがをした時の応急処置 1



■ すり傷

1. 子どもを椅子に座らせて水で傷を洗浄する。
2. 洗浄後、ガーゼで残った泥や砂を出来るだけ取り省く。砂などが取り切れない場合は病院で処置を受ける。
3. 清潔なガーゼで傷を軽く圧迫して止血する。
4. 傷パッドなどでおおう。



■ やけど (スクスク 49)

1. 衣服を慎重に脱がせ、やけどをした部位を10分以上、流水で冷やす。



2. やけどの部位を清潔な布でおおって病院へ行く。

■ 出血



1. 受傷部位を心臓より高い位置にあげる。
2. 受傷部位を心臓より高くあげたまま、子どもを水平に寝かせる。傷の圧迫を10分間続ける。
3. 清潔な傷パッドなどで傷をおおう。
4. 止血できたら傷のある部位を持ち上げて包帯などで固定する。
5. 出血が止まらない時は病院に行く。

■ 鼻出血 (スクスク 127)



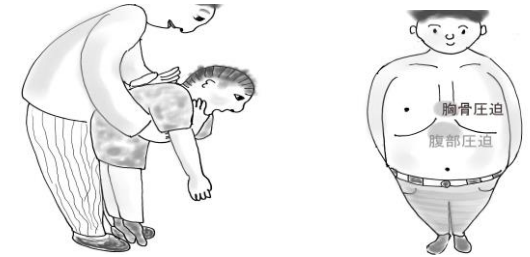
1. 子どもを椅子に座らせて頭を前に傾ける。口呼吸をさせ、鼻の柔らかい部分を指で10分間つまむ。
2. 口の中にたまったものをはき出させる。出血が続けばさらに10分間つまむ。
3. 再び出血しないか観察する。30分以上出血が続く場合は病院に行く。

■ 口の中をけがした。

1. 顔の前にボウルをおいて、顔をボウルの上に突き出させる。
2. 傷の上にガーゼをあて、指で10分間圧迫する。
3. 傷の部位が指で圧迫できない時や、10分以上止血しないときには病院に行く。

けがをした時の応急処置 2

■ 異物を飲み込んだ時



1. 自分の咳ではき出すように励ます。
2. 咳が無効な時は、子どもを前屈みにして5回肩胛骨の中間を強く叩く。
3. 口腔内を調べる。口腔内に見える閉塞物を取りのぞく。閉塞物が排出できない時は救急車を要請して、胸骨圧迫を始める。
4. 2の背中を叩くのが無効の場合は、胸骨圧迫を行う。握りこぶしを胸骨下部にあてて、もう一方の手でこぶしをつかむ。3秒間隔で最大5回まで急速に胸腔内方に圧迫する。口腔内を調べて取り除く。
5. 4の胸骨圧迫が無効の場合は、腹部圧迫を行う。握りこぶしを肋骨弓下の中央におき、もう一方の手でこぶしをつかむ。5回上方に圧迫する。
6. 腹部圧迫が無効な場合は、救急車がくるまで2~5までのステップをくり返し行う。

■ 頭を打った



1. 静かなところに寝かせる。
2. 意識はあるか、呼吸、脈拍はしっかりしているか観察する。食べ物を与えず、静かに 30 分以上寝かせる。
3. 意識がなく、ショックの状態であれば、すぐに救急車を要請する。
4. 事故の情報を集める
 - 落ちた高さ？ 打った強さ？
 - 落ちた地面の硬さ？
 - 頭のどこを打ったか？
5. 出血がある場合はガーゼを当てて圧迫する。
6. 止血したらガーゼの上から強く包帯を巻いて病院に行く。
8. 頭を打った後は 48 時間子どもの様子を観察して、以下の症状がある時には医療機関を受診する。
 - 頭痛が強くなる
 - くりかえし吐く
 - うとうとしている
 - 歩けない ひきつけた